



安全安心だより

令和5年度 No.6

～登下校の子どもの安全をみんなで守ろう！～

地域ぐるみの見守り活動と効果

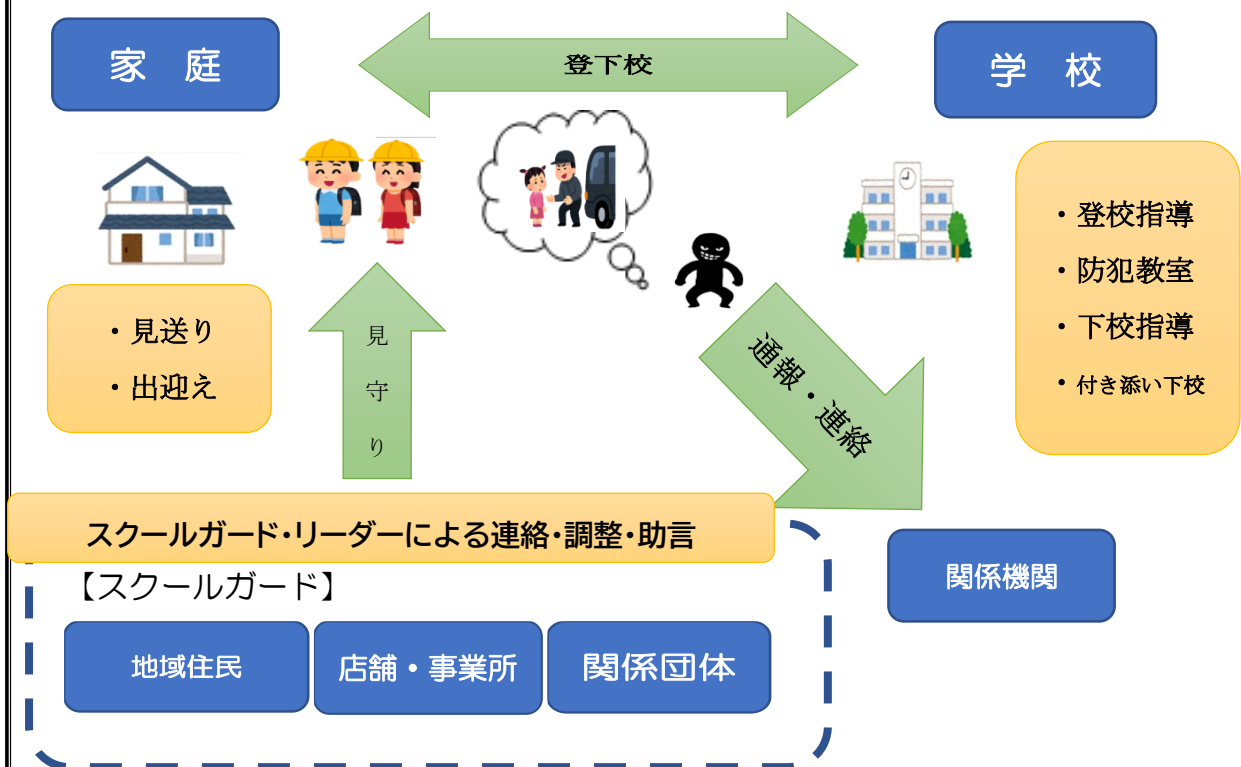
子どもの見守りに関わる関係者の皆様、毎日の子ども達の登下校時の見守り活動お疲れ様です。

○登下校時の見守り活動は、下図のとおり、関係者の皆様が一致団結して連携・協働し、地域全体で取り組むことが重要です。

○一人一人ができる範囲で、子どもたちや地域へ目を向け、見守り活動を実施することで、犯罪や事故が起きにくい環境をつくることができます。

○見守り活動は無理なく行いましょう。小さな取組の積み重ねによって、地域全体で子どもたちの安全を守る環境が生まれるとともに、地域コミュニティの活性化も期待できます。(やってみよう登下校見守りハンドブック2ページ抜粋：発行元文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室)

子ども見守り活動のイメージ



無理なく一人一人ができる範囲で見守り活動を行うためにどのように考えてみたら良いでしょうか。



- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① 活動出来る時間の限界。 | ④ 情報共有が進んでいない。 |
| ② 特定の人の負担が大きい。 | ⑤ 地域と学校の連携が難しい。 |
| ③ 見守りボランティアの方の高齢化が進んでいる。 | ⑥ 地域と他団体との連携が難しい。など |



視点を変えて、見守り活動を考えてみませんか？



(考え方例)

○毎日、見守りするのは疲れる。時間が取れない。

➡ ・週に1回なら、下校時間に見守りが出来るかも！

○同じ場所で見守りをするのは疲れる。

➡ ・自宅近くの交差点までなら、子どもの付き添いが出来るかも！

○中々、見守り時間が取れない。

➡ ・週に1回なら、下校時間帯に買い物が出来るかも！

・洗濯物を下校時間に合わせて取り込み、下校する子どもに「お帰り」の声かけができるかも！

・見守りが出来なくとも登下校する子どもたちに「おはよう」「お帰り」の声かけはできるかも！

一人一人の力は小さくても
地域全体、みんなの力で見
守りが出来ればいいね！



できる時に見守りをお願いします。



～「子ども安全安心対策推進事業」に関するお問合せ等は～

教育支援センター事務所（安全・安心担当）

電話：089-943-3205 まで

担当者のひとりごと～

やっと涼しくなってきましたが、朝夕の寒暖さが大きいので体調管理が大変ですね！